

CP-3-iii-02	卒論準備実習	第3学年	前期 必修	4.0単位
担当者	各卒論教室・研究室・部門・センターの指導教員			
一般目標 (GIO)	基礎実習で学んだことを再確認するとともに、卒論研究の遂行に必要な基礎的知識、技能、態度を習得することで、学生自らが卒論研究を実施するための能力を養う。			
到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究活動に関わる諸規則を遵守し、倫理に配慮して研究に取り組むことができる。(態度) 2. 環境を配慮して研究に取り組む。(態度) 3. チームの一員としてルールやマナーを守る。(態度) 4. 課題に関するこれまでの研究成果を調査し、評価できる。(知識・技能) 5. 発表論文を読解できる。(技能) 6. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出できる。(技能) 7. 実験に用いる薬品、器具、機器を選択し、正しく取り扱い、管理する。(技能・態度) 8. 研究の各プロセス結果を正確に記録することができる。(技能・態度) 9. 研究の結果をまとめることができる。(技能) 10. 研究の結果を考察し、評価できる。(技能) 			
受講心得・準備学習等	各卒論教室・研究室・部門・センターで与えられた課題に対し、積極的に取り組むこと。			
事後学習・復習等	卒論準備実習で与えられた課題を通して培った基礎的知識、技能、態度をよく復習し、卒論研究の実施に必要な取り組み方や意欲、問題発見・解決へのプロセスを実践できるよう努める。			
オフィスアワー	各卒論教室・研究室・部門・センターの設定による。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義、実習、演習	
回	項目	内容	担当者
1	各卒論教室・研究室・部門・センターにおいて、それぞれの教員の指導を受ける。	2年後期に配属を認められた各卒論教室・研究室・部門・センターに、3年次より配属になる。3年次において、講義・演習以外の時間で卒論準備実習を行う。 実習内容に関しては、配属された各卒論教室・研究室・部門・センターの指導教員の指示に従い、実習を進めていく。	卒論担当教員

成績評価の方法	各卒論教室・研究室・部門・センターにおいて、技能・態度及び報告書で評価する。
成績評価の基準	技能・態度に関して評価項目と概略評価を設定し、各項目の合計点数が60%以上、5段階による概略評価が3以上、かつ報告書の内容が点数化して60%以上のすべてを満たして合格とする。
教科書	
参考書など	